

### 「川島橋」の再工事

◇実施日；2019年12月10日(火) 晴

◇参加者；植平修、沖崎吉信、梶野照雄 (3名)

(記；梶野)

11月10日に浦向道の「川島橋」が完工したが、エキスパンドメタルの床板を固定するボルトに、締めきれなかった箇所が複数あり、植平さんと相談の上、後日ボルト部分を再工事することになっていた。またその際、橋の土台部分が崩れても橋が落ちることがないように、両側にワイヤーでステーを取ることとした。



登山口到着



「川島橋」で作業開始



11月末に植平さんから連絡があり、再工事の日を12月10日と決定した。当初、植平さんと私の二人で行う予定だったが、沖崎さんが「時間が取れた」と参加してくださり、3人での工事となった。

9時前に浦向三差路を通過、R425を登っていくと先行していた沖崎車に追いついた。登山口には植平さんが待っていた。



締まらないボルト

ステー用金具取付

ボルトの交換中

モノレールに二人を乗せて終点に上がり、「川島橋」を目指す。施工時と違って大きなものを運ばないので、10分足らずで「川島橋」に到着。ボルトの交換を始めた。前回、ボルトが締めきれなかったのは、亜鉛メッキの厚さのためだと思われるので、今回植平さんが用意されたのは、メッキが無いステンレス製のボルトだった。床板一枚に6本、5枚あるので30本のボルトを外し、ステンレスのボルトに付け直した。以前は無かったワッシャーも入れて確実に締め付けた。



立木にステー取り付け

ステンレスボルトに交換

橋の両側にステンレスワイヤー（8mmφ）で立ち木にステーを取り付けて再工事は終了した。



伐採木を運ぶ

アクリル板で蓋取り付け

充電中

行仙宿に向かう途中、第2ベンチ上から伐採された木を運ぶ。ロー

プで縛り、脇に抱える形で引きずって登ったが、気温が11月並みなので、汗をかいてしまった。  
小屋に着いて昼食。食後、充電コントローラの蓋を3mm厚のアクリル板に交換し、掃除機で小屋内を掃除した。



本日の参加者

実利行者に立ち寄る

お堂前で写真を撮ってから下山、植平さんの要望で「実利行者」に立ち寄る。その後、村役場を訪問したが、議会開催中で担当者不在のため連絡事項を伝えて帰宅した。

（記：梶野）

### 行動タイム

10:00 登山口 → 10:43 川島橋 → 11:27 行仙宿 14:12 → 14:56 登山口